

第 56 回（令和 3 年度）定時総会の議案に対する質問と回答

（質問①） 【事業全般】

新型コロナウイルス感染症の騒動が起こってから、1 年余りが過ぎましたが、その影響を受けている各会員の健康面や仕事面の状況などにつきまして、支障のない範囲でお教えてください。

特に業務量が減少している仕事について、現状とコロナ後の見通しなどについて詳しくお願いします。

（回答①）

当センターでは、会員の皆様に対して、令和 2 年 4 月、5 月、令和 3 年 1 月及び 5 月の 4 回にわたり「新型コロナウイルス感染症に係る当センターの対応等について（お願い）」と題して、会員及び役職員の健康と生命を守るため注意喚起してまいりました。

会員の健康面に関しましては、本年 5 月に会員 3 名（男性 2 名、女性 1 名）から、PCR 検査の結果、陽性となった旨の報告がありました。

センターでは、現状の確認と濃厚接触者等の有無について聞き取り調査を行いました。

シルバー人材センターは、感染すると重症化しやすいと言われている高年齢者の団体であり、最近では、変異株が流行し、感染力が増していることから、今後も会員及び役職員の健康と生命を守るために適切な対応に努めて参ります。

仕事の面では、請負・委任契約で対前年度比約▲8.3%、派遣契約で対前年度比約▲10.5%、事業高全体の対前年度比は約▲8.5%となり、全体的に厳しい結果となりました。

請負・委任による契約のうち、特に仕事量が減少している仕事（職種）は、年間実績を金額ベースで見ると管理群(▲1,887 万円)、一般作業群(▲1,730 万円)、技能群（▲782 万円）の 3 つの職群が 500 万円以上の減少となりました。

また、年間実績を対前年度比で見ると折衝外交群（▲51.80%）、管理群（▲17.60%）、技術群（▲12.00%）の 3 つの職群が 10.00%以上の減少となりました。

派遣による契約では、4 月～9 月の半期は比較的好調に推移しましたが、一部の職種で新型コロナウイルス感染症の影響を受けるとともに、年度後半に小売り業（スーパーにおける各種業務）の契約先が定年を 65 歳から 70 歳に引き上げたことにより、直雇いになったことが大きく影響しました。10 月以降のマイナス要因の 7 割程度はこの直雇いによるものです。

第56回（令和3年度）定時総会の議案に対する質問と回答

仕事面においては、現在も新型コロナウイルス感染症の影響は少なからず受けています。

本年4月の請負・委任による契約は、全体で対前年度同月比+6.60%となっていますが、対前々年度同月比では▲7.30%となっております。

同月の派遣による契約は、全体で対前年度同月比▲21.06%、対前々年度同月比▲10.63%となっており、依然として厳しい状況になっています。

今後の見通しとしては、新型コロナウイルス感染症の流行状況がどのようになるかについて注視し、会員、役職員の健康と生命を守ることを最優先にしたうえで、受注できる仕事には、しっかりと対応することとしています。今の段階では、現在進行形で実施されている新型コロナウイルスのワクチン接種が順調に進み、効果があることを期待しています。